入学年度 app year	科目名(クラス) Course Title	単位数 credits	開講期 year	時間割	担当教員名 Instructor(S)
2018～	がん医療薬学特論(がんプロ)	2	後期	土曜日1時限 土曜日2時限 土曜日4時限 土曜日5時限 土曜日6時限	岩村 樹憲 相良 英憲 飛鷹 範明 村上 通康

1. サブタイトル subtitle

最近のがんの薬物治療：薬剤師としての基礎と応用

2. 授業科目のテーマと目的 Theme of the Course

がん治療専門薬剤師のための基盤となる知識、実践応用についての知識について、理論的・技術的背景、臨床上への応用例を通して最近のがん薬物治療法の概念と具体化の方略を理解する。

3. 授業科目の内容・具体的な授業計画及び進度 Course Description and Outline

第1回目 がん治療（特に化学療法）に用いられる主要医薬品の化学
第2回目 緩和医療に用いられる主要医薬品の化学
第3回目 疫学研究の進め方
第4回目 臨床試験データの読み方①
第5回目 臨床試験データの読み方②
第6回目 がん化学療法最前線
第7回目 分子標的治療薬最前線
第8回目 Precision Medicine（精密医療）
第9回目 副作用対策 Up to Date
第10回目 CDTM（共同薬物治療管理）の実際
第11回目 これまでのがん疼痛薬物療法（オピオイドを中心に）
第12回目 最新のがん疼痛薬物療法（オピオイドを中心に）
第13回目 がん疼痛薬物療法に伴う副作用対策
第14回目 がん疼痛薬物療法と経済的評価
第15回目 がん疼痛薬物療法と薬薬連携

4. 利用教科書 Textbook(s)

No.	書名 (Title)	出版社 (Publisher)	著者 (Author)	ISBN番号 (ISBN)	発刊年 (pub,year)
1					
2					

5. 参考書

No.	書名 (Title)	出版社 (Publisher)	著者 (Author)	ISBN番号 (ISBN)	発刊年 (pub,year)
1					
2					
3					
4					
5					

※教科書・参考書以外の資料 Materials other than textbooks and Reference Books

講義の都度、対応するプリント、学術論文などを配布する。

6. 準備学習(予習・復習) Preparation for Class

履修登録の対象者には事前にプリント配布と学習ガイドラインを示すので、それに従って予習と復習を行なうこと。

7. 評価の方法・基準 Criteria for Evaluation

レポートの評価80%、受講態度20%で評価する。レポートの提出は、授業内容に関するテーマについて４回程度を予定している。

8. 学習の到達目標 The Main Goals of Course

第1～2回目
最近のがん治療薬のファーマコフォア、構造活性相関、標的生体分子との相互作用について説明できる。
第3～5回目
がん薬物療法に必要な医薬品情報学の理論・方法について論理的に説明できる。疫学的調査方法について例を挙げて説

明できる。
第6～10回目
がん化学療法における薬剤師の果たすべき役割と問題解決の方略について、臨床上のエビデンスを例に説明できる。
第11～15回目
がん緩和医療における薬剤師の果たすべき役割と問題解決の方略について、臨床上のエビデンスを例に説明できる。

9. その他の留意事項について Additional Instractions / Comments to Students

Copyright(c)2007-2016 Matsuyama University.All rights reserved.